

長崎市に導入している人流分析ツール・公開型GISについて

【目次】	ページ
1 人流分析ツール（KLA）	2
2 公開型GIS（ながさきマップ）	11

情報政策推進部
令和8年9月

1 人流分析ツール（KLA）

■(1) 導入目的

本市においては、各部局・所属がそれぞれの課題に応じてデータを収集・分析・活用し、創意工夫しながら、迅速かつ効率的なサービスの提供や改善を行い、市民のニーズや価値観の多様化、技術革新等の環境変化へ適切に対応するとともに、様々なデータを流通させ、事業者や大学等による新たな産業やサービスの創出等を推進をめざしている。

ICT環境整備の一環として、携帯電話の基地局情報やGPS位置情報等を基礎データに用いた人流分析ツールを令和6年度に実証導入し、令和7年度から運用開始している。

■(2) 導入している人流分析ツールの概要

ア ツール名

「KDDI Location Analyzer」（以下「KLA」という。）

イ 特 徴

エリアや施設を指定し、人数や属性（性別・居住者か勤務者か来訪者か）を調べることができる（拡大推計値※）。

※携帯電話の位置情報データ等のサンプルデータを基に、統計処理により全体人数へ換算した推計値。実人数ではない。

1 人流分析ツール（KLA）

（3）分析できるもの

大分類	小分類	内 容
エリア分析	 主要導線分析	通行量を道路単位で属性別に可視化
	 通行人口分析	通行量をエリア単位で属性別に可視化
	 滞在人口分析	エリア内滞在人口を属性別に可視化
	 単点分析ダッシュボード	通行・滞在人口の推移を表示
施設分析	 来訪者属性分析	来訪者属性や利用傾向を可視化
	 来訪者居住地分析	来訪者の居住地や商圈を可視化
	 単点分析ダッシュボード	来訪者数の推移や再訪傾向を分析
	 前後立ち寄り分析	来訪前後の立寄地点を可視化
行政界分析	 前後立ち寄り分析	来訪者の周遊行動を可視化
	 宿泊地分析	旅行者の宿泊先と宿泊率を分析
	 発地分析	来訪者の出発地点を可視化

1 人流分析ツール (KLA)

■ (4) システム画面

ア エリア分析：滞在人口分析

国内居住者・滞在人口分析 エリア名: みなとまつり



集計方法: ☐ のベューザ数 ☒ 全人口推計値

データ期間: 2026-07-25 ~ 2026-07-26

滞在時間: ☒ 15分以上 ☐ 30分以上 ☐ 60分以上

属性条件:

- ☒ 性別
 - ☒ 男性
 - ☒ 女性
- ☒ 年代別
 - ☒ 20代
 - ☒ 30代
 - ☒ 40代
 - ☒ 50代
 - ☒ 60代
 - ☒ 70歳以上
- ☒ 居住者/勤務者/来街者別
 - ☒ 居住者
 - ☒ 勤務者
 - ☒ 来街者

条件を指定
して実行

上記の条件で集計を再実行

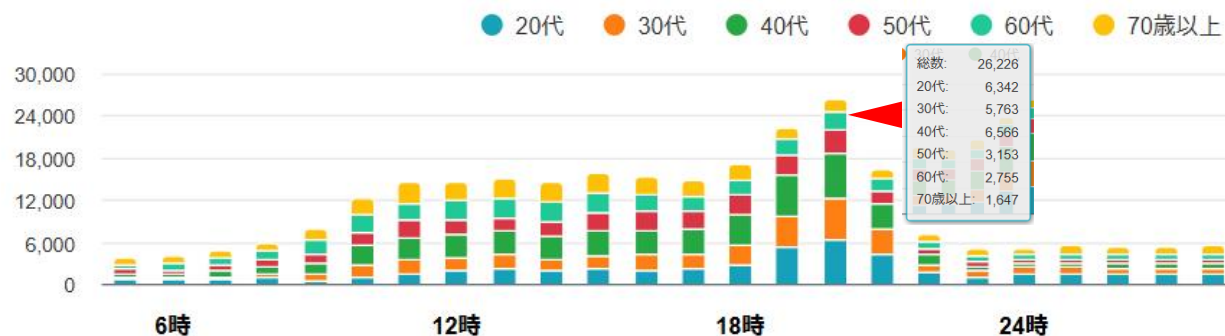
サマリー

時間帯ごと

日にち区分: 期間全体

グラフ内訳: 年代別

☐ 1日あたりの平均を表示



1 人流分析ツール (KLA)

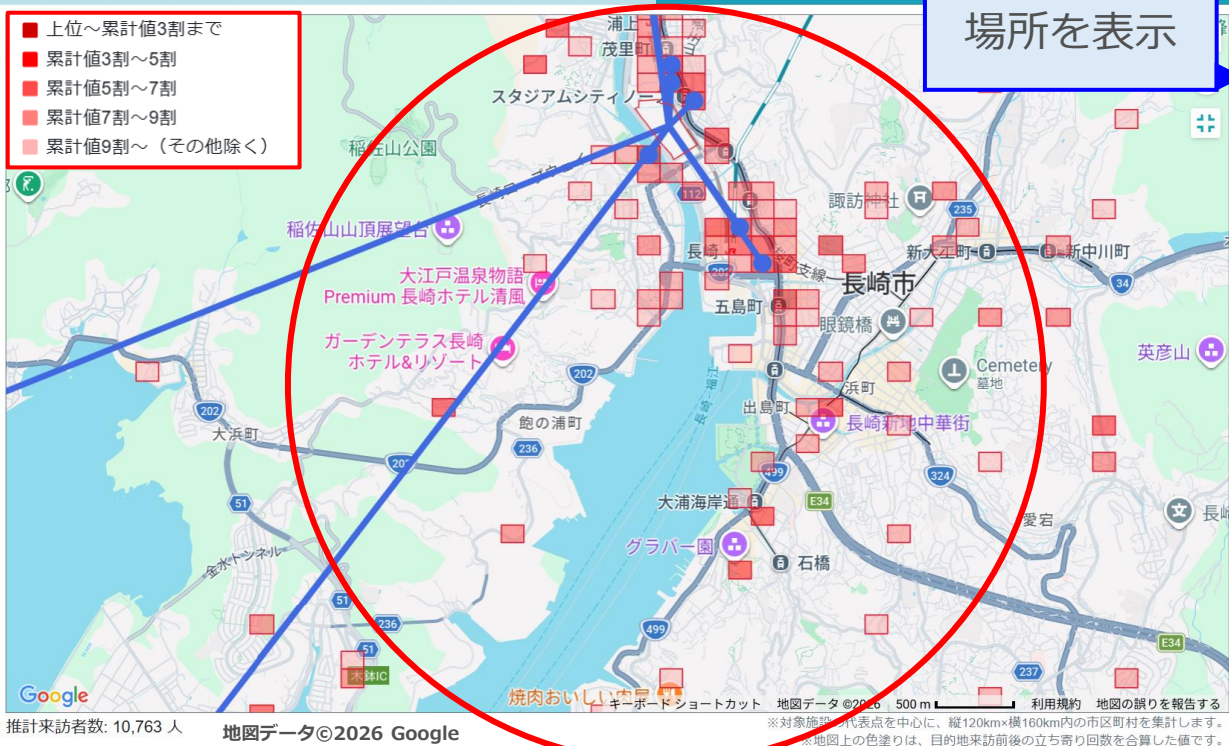
■ (4) システム画面

イ 施設分析：前後立ち寄り分析

- 抽出条件：スタジアムシティに2時間以上滞在し、その前後で30分以上いた場所

5/17 (日) Jリーグの試合前後

30分以上いた場所を表示



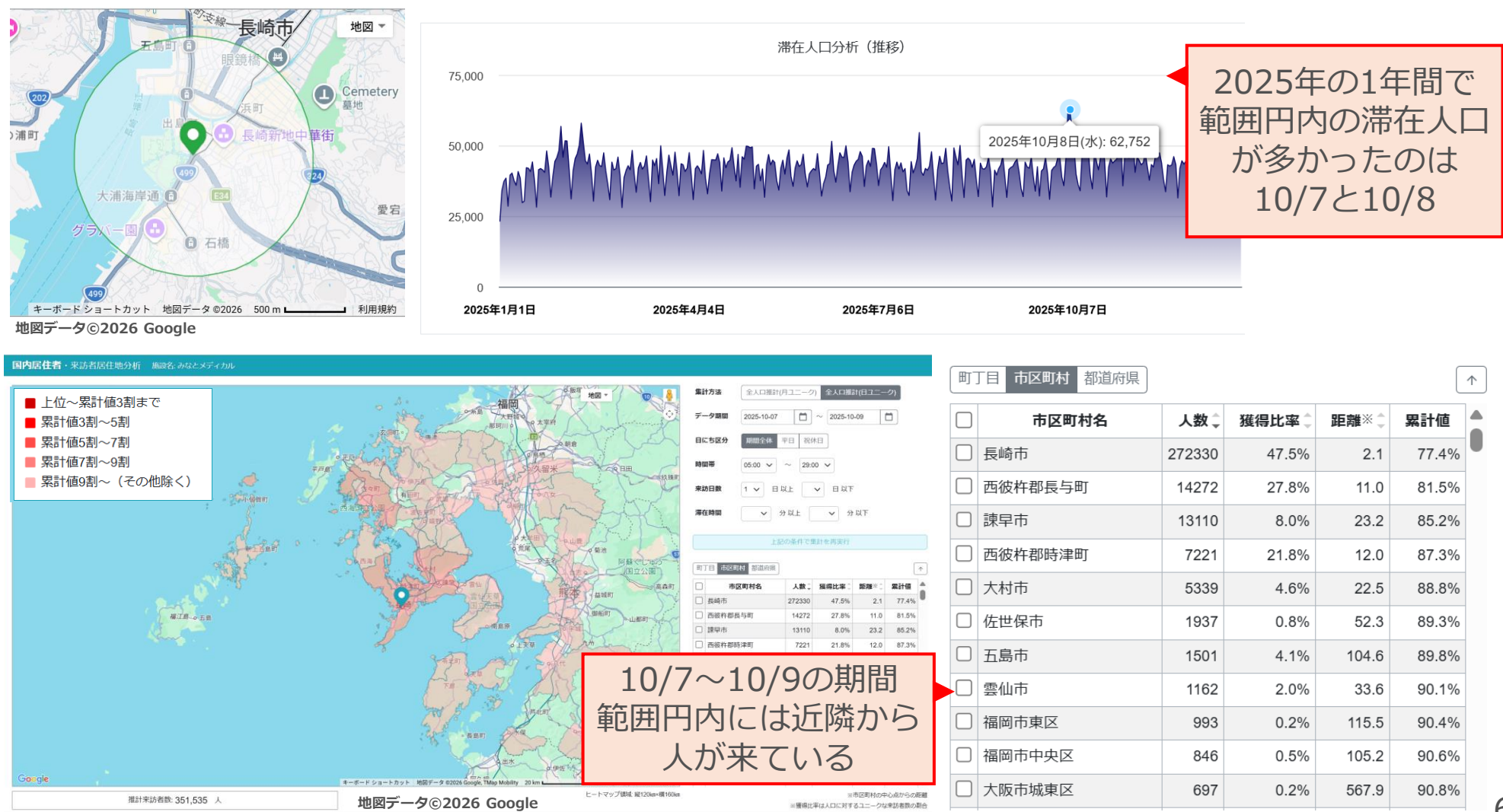
市区町村名	町丁目名	人数	立ち寄り率	距離※	累計値
長崎市	尾上町	5,555	51.6%	0.9	7.2%
長崎市	茂里町	4,745	44.1%	0.5	13.3%
長崎市	稲佐町 (第1)	2,309	21.5%	0.7	16.3%
長崎市	目覚町	2,075	19.3%	0.5	19.0%
長崎市	松山町	1,939	18.0%	1.7	21.5%
長崎市	銭座町	1,298	12.1%	0.4	23.2%
佐世保市	権常寺町	1,272	11.8%	41.9	24.8%
長崎市	深堀町一丁目	1,211	11.3%	8.9	26.4%
長崎市	小瀬戸町	1,182	11.0%	4.6	27.9%
長崎市	神ノ島町一丁目	1,140	10.6%	5.1	29.4%
長崎市	大黒町	1,052	9.8%	1.1	30.8%
長崎市	福田本町	1,040	9.7%	4.4	32.1%
長崎市	五島町	1,034	9.6%	1.4	33.5%
長崎市	筑後町	1,026	9.5%	1.1	34.8%
西彼杵郡長与町	まなび野二丁目	1,024	9.5%	5.9	36.1%
長崎市	川口町	968	9.0%	1.0	37.4%
長崎市	葉山一丁目	880	8.2%	5.2	38.5%
長崎市	小江原四丁目	849	7.9%	4.0	39.6%
長崎市	岩川町	798	7.4%	0.8	40.6%
長崎市	琴海村松町	798	7.4%	15.8	41.7%

スタジアムシティ
滞在前後にいた場所
を可視化

1 人流分析ツール (KLA)

(4) システム画面

ウ エリア分析：単点分析ダッシュボード（来訪者居住地分析）



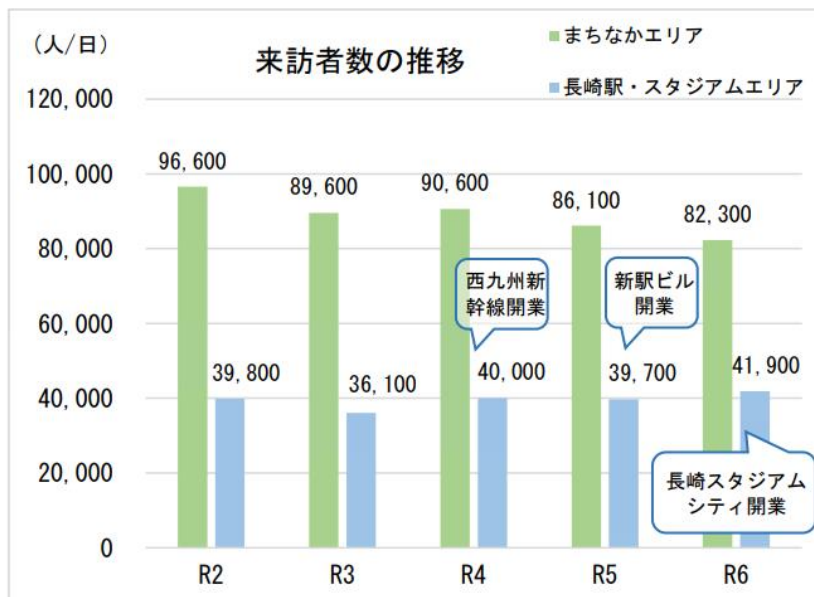
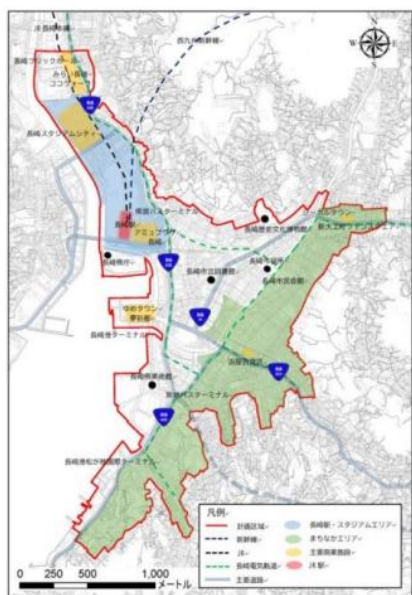
1 人流分析ツール（KLA）

（5）活用事例

ア 第3期長崎市中心市街地活性化基本計画

（ア）事例1（現状把握・分析（問題点の把握））

③来訪者数



長崎駅周辺および長崎スタジアムシティを核とするエリアでは、来訪者数が年々増加しており、西九州新幹線や長崎スタジアムシティの開業が高い集客力を示している。一方で、従来から商業や歴史・文化・観光の中心であるまちなかエリアでは、来訪者数が継続的に減少しており、長崎駅や長崎スタジアムシティで創出される交流人口を中心市街地全体に十分に波及させられていないことが推察される。

1 人流分析ツール（KLA）

■(5) 活用事例

ア 第3期長崎市中心市街地活性化基本計画

(イ) 事例2（目標指標の根拠資料・調査方法）

目標① 回遊環境の向上

目標指標①：来訪者回遊率（％）

中心市街地の回遊環境の向上に資する主要事業や施策が、来訪者の回遊にどの程度効果を発揮しているかを定量的に検証する指標として、「来訪者回遊率」を設定する。

本評価では、新大工エリア、中島川・寺町・丸山エリア、浜町・銅座エリア、館内・新地エリア、東山手・南山手エリアを設定し、これら5つのエリアをまとめて「まちなかエリア」と定義する。同日のうちに“長崎駅・スタジアムエリア”と“まちなかエリア”の両方に来訪した人数を「回遊者数」と定義し、長崎駅・スタジアムエリア来訪者数に対する回遊者数の割合を「来訪者回遊率」とする。

- 調査方法：「KDDI Location Analyzer」を用いて分析
- 調査対象：来街者・勤務者・居住者
- 調査月：毎年1月～12月（暦年）
- 算出方法：長崎駅・スタジアムエリア来訪者数に対する回遊者数の割合を算出
エリア内における15分以上滞在者をエリア来訪者とみなす

$$\text{来訪者回遊率（％）} = \frac{\text{回遊者数（人／日）}}{\text{長崎駅・スタジアムエリア来訪者数（人／日）}} \times 100$$

1 人流分析ツール（KLA）

■ (5) 活用事例

ア 第3期長崎市中心市街地活性化基本計画

(イ) 事例2（目標指標の根拠資料・調査方法）

目標② 魅力的な空間の創造

目標指標② 60分以上滞在率（％）

中心市街地の魅力的な空間の創造に資する主要事業や施策が、来街者の滞在時間の延伸や滞在促進にどの程度効果を発揮しているかを定量的に検証する指標として、「60分以上滞在率」を設定する。

本指標では、新大工エリア、中島川・寺町・丸山エリア、浜町・銅座エリア、館内・新地エリア、東山手・南山手エリアを設定し、当該5エリアの来街者数に対する60分以上滞在者数の割合を「60分以上滞在率」とする。

●調査方法：「KDDI Location Analyzer」を用いて分析

●調査対象：来街者

●調査月：毎年1月～12月（暦年）

●算出方法：エリア来街者に対する60分以上滞在者数の割合を算出

滞在時間に関係なくエリア内に訪れた者をエリア来街者とする

$$60 \text{ 分以上滞在率（％）} = \frac{60 \text{ 分以上滞在者数（5 エリア・人／日）}}{\text{エリア来街者数（5 エリア・人／日）}} \times 100$$

1 人流分析ツール（KLA）

■ (6) 利用状況（活用検討を含む）

主な利用内容
まちなか人流分析（第3期長崎市中心市街地活性化基本計画策定等に利用）
ランタンフェスティバル人流分析
商店街でイベントした前後の人流調査に利用
新規開業予定の事業者へ周辺の人流状況の説明に利用
桜祭り渋滞分析・交通量分析
救急車適正配置に向けた人流分析
稲佐山公園人流分析
公共交通分析

■ (7) 今後の活用

今後は、イベントや施設を訪れた人が、その前後にどこを訪れているのか、どのような経路で市内を周遊しているのかを分析し、観光振興やまちなかのにぎわい創出、公共交通の利便性向上などの施策検討に活用していく。あわせて、施策実施前後の人流の変化を把握することで、事業効果の検証や改善につなげ、データに基づく政策立案や業務改善を推進していく。

2 公開型GIS（ながさきマップ）

■(1) 導入目的

都市計画情報や道路台帳等の地図情報については、来庁して専用の機器で閲覧・印刷する必要があったが、コロナ禍において、来庁せずに職場や自宅から利用できるようにするとともに、窓口対応や閲覧業務の効率化を図ることを目的に、令和4年度から導入している。

現在では、この地図基盤を活用し、公共施設やバリアフリー情報、避難所、子育て施設なども掲載しており、市民の利便性向上と業務効率化に資する総合的な地図サービス（地図情報データカタログ）として展開している。

■(2) 導入している公開型GISの概要

ア 名 称

ながさきマップ

イ 特 徴

現在は、34テーマ（都市計画、こども・教育、観光・文化など）・152種類の情報を掲載している。

2 公開型GIS（ながさきマップ）

（3）操作方法

地図を表示したい
エリアをクリック

地図上に表示したい
「テーマ」や「施設」
をクリック
(複数クリック可)

地図から探す
地図を表示したい箇所をクリックしてください

サービス向上のため、アンケートにご協力ください！
回答する
所要時間 約1分！

お知らせ
2026年8月28日
サイト更新のお知らせ

2026年8月24日
サイト更新のお知らせ

利用規約
ヘルプ
長崎市歳時記
OpenPhoto<外部リンク>

お問い合わせ先
長崎市役所
〒850-8685 長崎市魚の町4番1号

環境・衛生
給水設置公共施設
ごみ処理施設
し尿処理施設
火葬場
事務所
その他

住宅
市営住宅

交通
ロープウェイ駅
船客待合所

観光・文化
世界遺産関連
総合観光案内所
水族館
科学館
交流拠点施設
文化ホール
文化センター
文化財
デザインマンホール

公園
公園

レジャー
レジャー施設
体験施設
子ども遊戯施設
道の駅

バリアフリーマップ
バリアフリー情報
赤ちゃん用おむつ交換台
車いす使用者用トイレ
オストメイトトイレ

選挙
当日投票所
期日前投票所

建築基準法の道路
建築基準法の道路

消防水利
消火栓
防火水槽

屋外広告物規制区域
屋外広告物規制区域

都市計画
都市計画区域
用途地域
防火指定
都市施設
都市計画道路(進捗状況)
市営市有駐車場

公共施設
市役所
総合事務所・地域センター
公民館
ふれあいセンター
コミュニティセンター
市民センター
男女共同参画推進センター
市民活動センター
動物愛護管理センター
公衆浴場
消費者センター
流通拠点施設
市場
図書館
スポーツ施設
宿泊施設
研修施設
難民相談センター
産業振興施設
消防署

子ども・教育
赤ちゃんの駅
子育て支援センター
子育てサークル
お遊び教室
一時預かり
児童館・児童センター
保育所
認定こども園
幼稚園
小規模保育事業所
病児・病後児保育施設
放課後児童クラブ
小学校
中学校
高等学校
給食施設

福祉・医療・健康
老人福祉施設
障害福祉センター
病院
内科診療所
歯科診療所
夜間急患センター
健康管理センター
健康づくりセンター

駐車場マップ
駐車場
二輪車等駐車場

クーリングシェア
指定暑熱避難施設
(クーリングシェアター)

立地適正化計画
立地適正化計画

地番参考図
地番参考図

その他の規制区域
土砂災害特別警戒区域
(土石流)
土砂災害特別警戒区域
(急傾斜地の崩壊)
指定区域

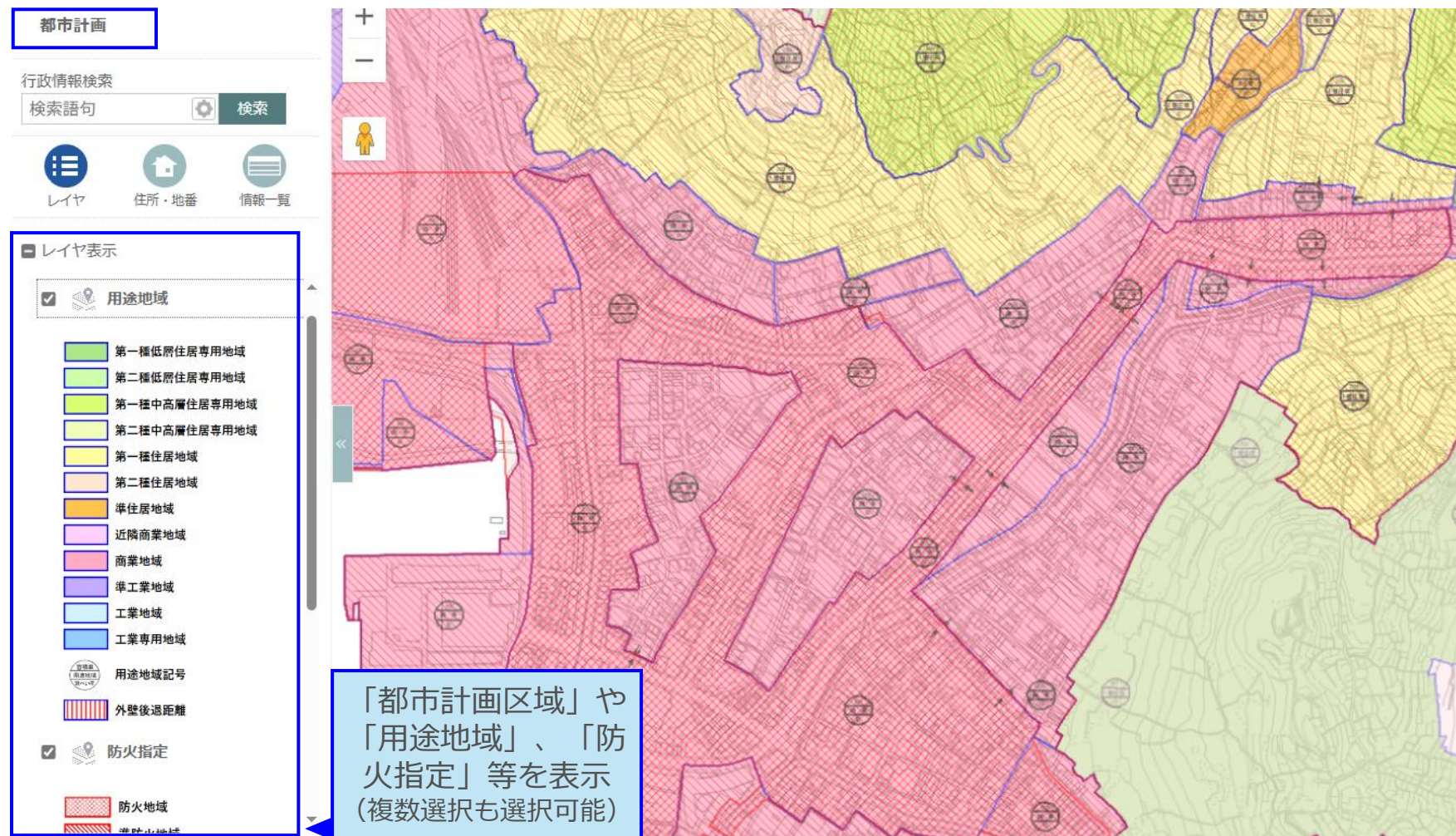
ながさきマップホームページ

<https://www.sonicweb-asp.jp/nagasaki/>

2 公開型GIS（ながさきマップ）

（4）表示例

ア 都市計画（用途地域）



2 公開型GIS（ながさきマップ）

（4） 表示例

イ 観光・文化施設

公開している各種情報は、現状を正確に反映していない場合があります。

表示テーマ
観光・文化

行政情報検索
検索語句 検索

レイヤ 住所・地番 情報一覧

レイヤ表示

- ☒ 世界遺産関連
- ☒ 総合観光案内所
- ☒ 水族館
- ☒ 科学館
- ☒ 交流拠点施設
- ☒ 文化ホール
- ☒ 文化センター
- ☒ 文化施設
- ☒ 文化財
- ☒ デザインマンホール

ルートを表示
(経由地も選択可能)

地図上のアイコンをクリックすると詳細が表示される

グラバー園

名称	グラバー園
フリガナ	グラバーエン
住所	長崎県長崎市南山手町8-1
電話番号	095-822-8223
開館時間	午前8時～午後6時
休館日	
入館料	大人：620円（団体520円）、高校生：310円（団体250円）、小中学生：180円（団体140円） 団体は15人以上の場合となります。

詳細ページ [ページを開く](#)

各ホームページのリンク
(詳細や写真がわかる)

透過度

1/470 1/940 1/1875 1/3750 1/7500 1/15000 1/30000 1/60000

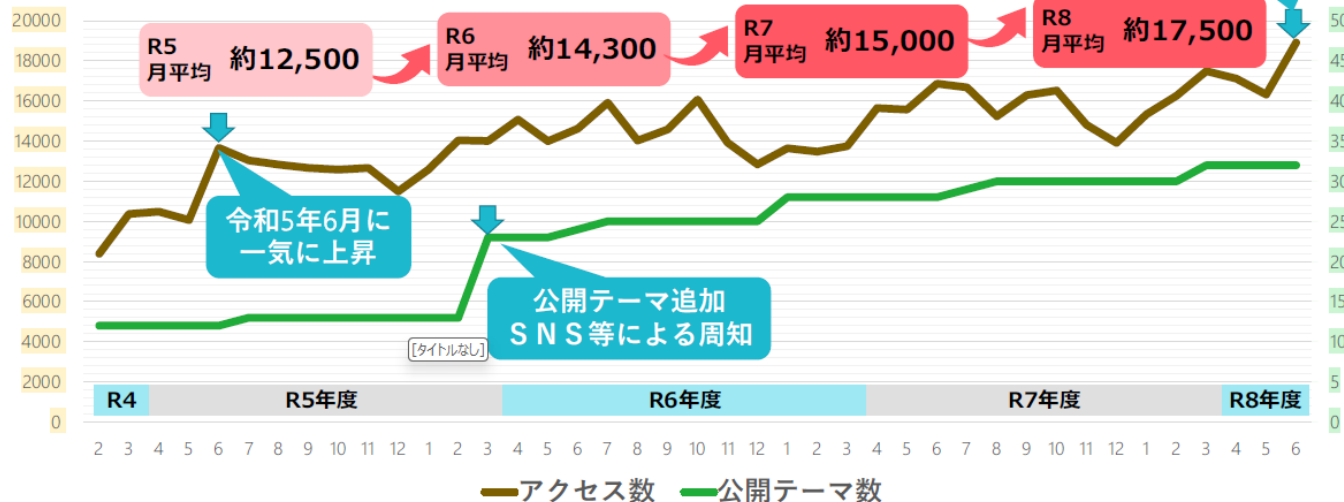
地図データ©2026 Google

2 公開型GIS（ながさきマップ）

（5）利用状況

アクセス数の推移

● 月ごとのアクセス数と公開テーマ数の推移（令和5年2月～令和8年6月）



出典：国際航業株式会社（ながさきマップのこれまでの取組みと更なる発展に向けて）

（6）今後の活用

今後は、市民や事業者の利便性向上を図るため、庁内で保有する地図情報の掲載をさらに進めるとともに、オープンデータ化を推進し、誰もが利用しやすいデータ環境の整備を進めていく。

また、将来的には、民間事業者が保有するデータとの連携や掲載についても、必要性や実現可能性を踏まえながら検討していく。